

豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第4号

発行日 2013.5.10

2013年3月調査結果

景況感改善！ でも慎重な構え！

< アンケートにご協力いただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。 >

本年3月末を足元の時点として、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協同して、豊田に居住もしくは勤務されている方を対象として、下記の3つの視点から、景気の実感調査をさせていただきました。また特別アンケートも実施しました。

景気実感指数（DI指数）

（現状判断） 2～3ヶ月前から現在までの景気の変化をどう感じますか？
 （先行き判断） 今から2～3ヶ月後までの景気の推移をどう予想していますか？
 （水準判断） 今、現在の景気実感はどうですか？

25年3月の豊田市の景気天気図（アンケートの調査結果）

	現状判断DI				先行き判断DI				水準判断DI			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	52.6	54.4	62.5	53.9	57.7	54.1	54.7	56.1	43.2	48.0	56.2	46.1
全国	56.9	56.1	63.1	57.3	57.0	57.3	60.9	57.5	50.4	50.7	60.1	51.4
東海	55.8			56.1	55.4			54.0	51.8			52.6

全国、東海（静岡を含めた4県）は内閣府3月調査結果。

大きな晴れ：DI60点以上
 晴れ：DI50～60点未満
 曇：DI40～50点未満
 雨：DI40点未満

24年9月の豊田市の景気天気図（総合）



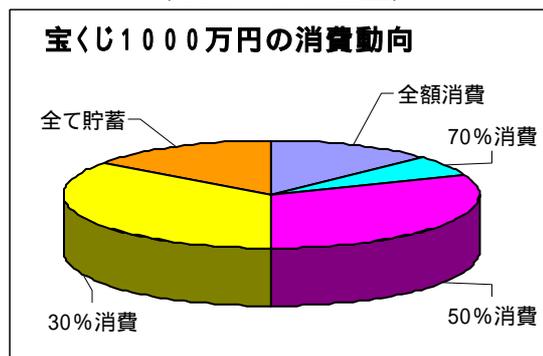
特別アンケート 豊田市における消費動向の調査

～ 巻末に掲載 ～

1,000万円の宝くじが当たった場合でも、平均の消費割合（いくら消費に回すか）は44%と低い状況にあります。支出が増えた項目として贅沢品と回答された方は7%に留まり、消費マインドの改善範囲は限られています。68%の方が所得見通しを悲観的に見ており、これが豊田における消費の低迷に直結している様子が窺えます。消費に対する弊害としては、住宅等のローンや税金支払いを挙げるモニターの方が多くいらっしゃいました。

1,000万円の宝くじが当たった場合、その何%を消費に回しますか？ ～ 依然、財布の紐固く～

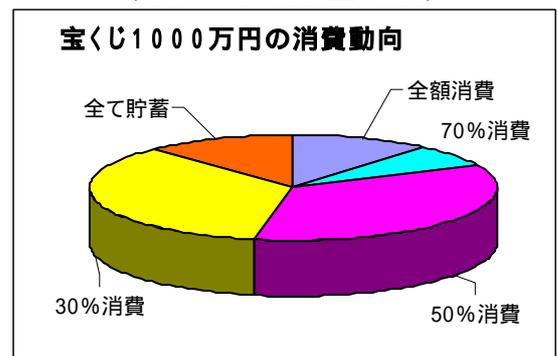
（平成24年9月調査）



平均消費割合
前回43% 44%

消費に対する慎重姿勢に変化なし。

（平成25年3月調査：今回）



前回調査時と同様に、消費意欲が低いレベルに止まっています。景気実感の改善が、消費意欲を十分に刺激するまでには至っていない様子が窺えます。

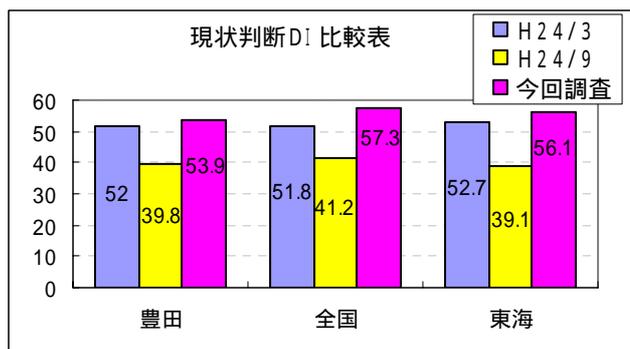


現状判断総合DIは「53.9」  ~ 前回調査比14.1ポイントの大幅な改善 ~

(1) 回答別構成比(%)

構成比		良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI
本調査	豊田	3.2	27.6	56.2	8.1	4.9	53.9
内閣府	全国	3.4	36.6	48.3	9.4	2.3	57.3
	東海	3.5	33.9	50.2	7.9	4.4	56.1

(2) DI比較表



豊田の現状判断DIは、全国、東海と同様、大幅な改善です。しかし、53.9に止まり、全国(57.3)、東海(56.1)と比べると改善は若干弱いものに止まっています。なお、全国の57.3は全国の過去最高水準に並ぶ結果となっています。豊田が若干低いのは、回答別構成比で見て、“変わらない”の割合が高いことが主な要因です。業種別には、特に飲食関連(45.3)と小売関連(46.6)とが50を割り、全国に比べ弱くなっています。全体として、景気回復実感の消費への波及が全国、東海に比べ若干弱い様子が窺えます。

(3) 景気モニター業種別比較 (DIが50以上に網掛け表示)

業種	豊田市(A)	全国(B)	(A)-(B)	東海(C)	(A)-(C)
家計動向関連	52.6	56.9	4.3	55.8	3.2
小売関連	46.6	55.6	9.0	-	-
飲食関連	45.3	58.6	13.3	-	-
サービス関連	60.7	57.7	+ 3.0	-	-
住宅関連	60.0	63.8	3.8	-	-
企業動向関連	54.4	56.1	1.7	-	-
製造業	52.1	54.3	2.2	-	-
非製造業	60.4	57.8	+ 2.6	-	-
雇用関連	62.5	63.1	0.6	-	-
合計	53.9	57.3	3.4	56.1	2.2

景気モニターのコメント紹介 + : 回復感あり - : 回復感なし

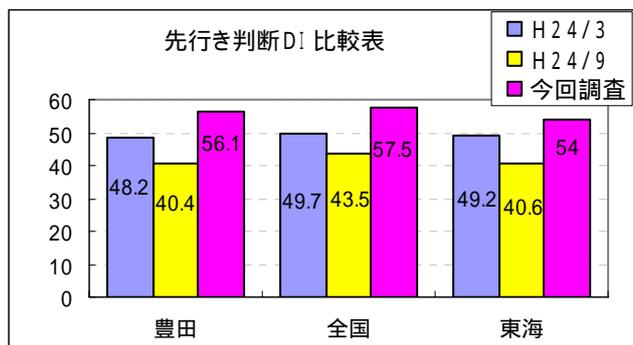
- + 個人旅行、社員旅行が一時期に比べ増加してきている。(旅行代理店従業員)
- + 3月に入り、輸送用機械器具メーカーの求人数が昨年比大幅増となっている。(職業安定所職員)
- + 不動産関連業者や金融機関からの不動産登記の受任件数が増加している。(司法書士)
- 業務量は増えているが、単価的に厳しい状態で利益なき繁忙状態が続いている。(通信業社員)

先行判断総合DIは「56.1」  ~ 前回調査比15.7ポイントの大幅な改善 ~

(1) 回答別構成比(%)

構成比		良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI
本調査	豊田	3.6	34.4	48.4	10.0	3.6	56.1
内閣府	全国	3.7	36.4	48.4	9.3	2.3	57.5
	東海	4.4	32.2	46.7	14.1	2.6	54.0

(2) DI比較表



豊田の先行判断DIも、全国、東海と同様、大幅な改善です。DIは56.1で、全国より若干弱く、東海よりも若干強いという結果になりました。業種別に見ても、DIが50以下(曇)は飲食関連のみとなり、昨年9月調査時に指摘されていた先行きに対する漠然とした不安が、取り敢えずは払拭されている様子が窺えます。豊田は自動車産業の集積地という事もあり、円安の効果を期待する声の一方、過度な円安は材料費高騰という副作用を生み出すとして先行き不安の声の両方がありました。いずれにしても、先行き判断には「期待感」、「懸念」の双方が反映されています。

(3) 景気モニター業種別比較 (DIが50以上に網掛け表示)

業種	豊田市(A)	全国(B)	(A)-(B)	東海(C)	(A)-(C)
家計動向関連	57.7	57.0	+ 0.7	54	+ 3.7
小売関連	55.0	56.7	1.7	-	-
飲食関連	47.8	58.3	10.5	-	-
サービス関連	65.5	56.5	+ 9.0	-	-
住宅関連	52.5	61.9	9.4	-	-
企業動向関連	54.1	57.3	3.2	-	-
製造業	50.3	55.7	5.4	-	-
非製造業	63.6	59.0	+ 4.6	-	-
雇用関連	54.7	60.9	6.2	-	-
合計	56.1	57.5	1.4	55.4	+ 0.7

景気モニターのコメント紹介 + : 回復感あり - : 回復感なし

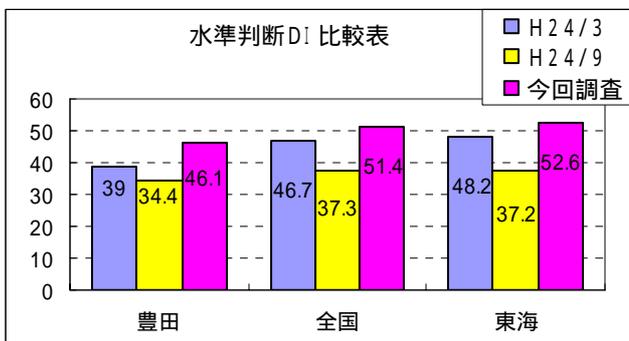
- + イベントへの予約申込み件数が多いことから判断。(観光協会)
- + 得意先や社内の雰囲気から期待感が感じられるようになった。(輸送用機械器具業従業員)
- 円安による原料等の値上がり懸念。コスト上昇分の価格転嫁が難しくなると思われる。(食料品製造業従業員)
- 量販店の進出、お客様の高齢化による販売不振は続くと思われる。(家電販売従業員)

水準判断総合DIは「46.1」 ~ 大幅改善も力強さに欠ける内容 ~

(1) 回答別構成比

構成比		良い	やや良い	どちらとも いえない	やや悪い	悪い	DI
本調査	豊田	0.0	24.0	44.8	22.6	8.6	46.1
内閣府	全国	3.1	30.2	43.6	15.7	7.5	51.4
	東海	3.5	31.2	44.9	12.8	7.5	52.6

(2) DI比較表



前回調査の低水準から、豊田、全国、東海とも大幅に改善しました。しかし、豊田は、46.1で、50を上回った全国(51.4)、東海(52.6)に比べ低くなっています。豊田の人々が足元の景気水準がまだ厳しいと判断されている様子が窺えます。

業種別に見ると、50を下回っているのは、全国が小売関連(48.3)、製造業(48.8)の2業種であるのに対し、豊田は、小売関連(35.1)、飲食関連(45.5)、製造業(46.7)の3業種に及んでいます。とくに家計動向関連は、全体、内訳でも全国を大きく下回っており、来客数の低下、販売単価の下落といった前回調査時のモニターの方の声が引続き多く見られました。実体面の大きな改善にはまだ十分波及していないことが窺われます。

(3) 景気モニター業種別比較 (DIが50以上網掛け表示)

業種	豊田市(A)	全国(B)	(A)-(B)	東海(C)	(A)-(C)
家計動向関連	43.2	50.4	7.2	51.8	8.6
小売関連	35.1	48.3	13.2	-	-
飲食関連	45.5	51.2	5.7	-	-
サービス関連	52.4	52.8	0.4	-	-
住宅関連	50.0	57.8	7.8	-	-
企業動向関連	48.0	50.7	2.7	-	-
製造業	46.7	48.8	2.1	-	-
非製造業	51.0	52.4	1.4	-	-
雇用関連	56.2	60.1	3.9	-	-
合計	46.1	51.4	5.3	52.6	6.5

豊田景気実感調査 総括(25年3月調査)

豊田の現状・先行き・水準とも、景気実感は前回調査(9月)比大幅に改善し、昨年秋での閉塞感が払拭されつつあります。その意味で、アベノミクスや 大幅金融緩和による円安や株高の効果がマインド面の改善に繋がっているとと言えます。

しかしながら、自動車産業の集積地として、円安によるメリットを評価する反面、悪い面、例えば原材料価格の高騰等を指摘する声も非常に多く、DIの改善は全国に比べ若干弱いものに止まっています。とくに、景気的水準判断でむしろ慎重で、厳しい判断をされています。需給バランスが正常化し、給与が上がり、消費が増え、雇用が増えるといった、経済が成長していく本来の望ましい姿が実現されて始めて評価するという慎重なスタンスが豊田の方々の態度のように窺えます。 次回調査: 25年9月

円安株高による所得層の2極化が更に進行し、原材料費の高騰から値上げが起こり、物価が上がる。果ては消費税増税もあり、廃業とならないか。（商店街代表者）

物価目標2%を掲げていますが、結局、支出は少ない方が良いとする人が多い。物価が上がれば、消費が鈍化しかえって景気は悪化するのではと心配している。（住関連代表者）

豊田市は自動車産業の街です。しかしながら、そこに依存しすぎています。これからは、飲食業が第2次産業となるべき。京都と大阪に例えるなら、大阪を目指すべき。町ぐるみの商業地計画を望みます。（スナック経営者）

本気で景気回復を目指すなら、消費税増税は断固反対。内需拡大の為、むしろ減税すべき。（通信会社社員）

豊田市への転入者が増えていない。住みよい街、働きがいのある街、そして楽しめる街として人が集まってくるような施策に取り組んで欲しい。（住宅販売会社従業員）

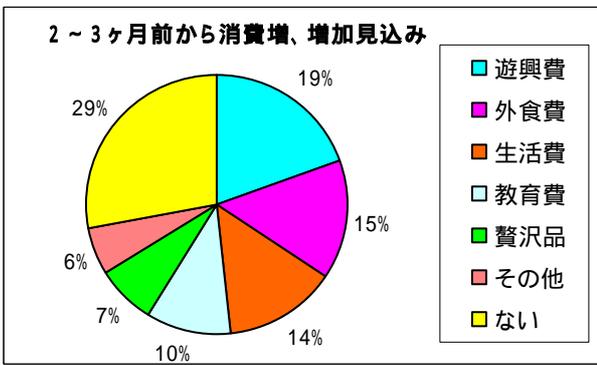
「とよた元気プロジェクト」があるわりには、多くの市民は商工会議所への関心がない。何らかのアピールをする事で、活動の裾を広げて頂きたい。（輸送用機械従業員）

実態のない株価高騰に一抔の不安を感じている。（輸送業従業員）

アンケート結果の詳細は、豊田商工会議所または豊田信用金庫のホームページをご覧ください。
ホームページには「景気モニターの方から寄せられた貴重なご意見」「景気の現状・先行きを判断した理由」等、本誌に掲載できなかったより多くの調査結果掲載しております。
(5月下旬掲載予定)

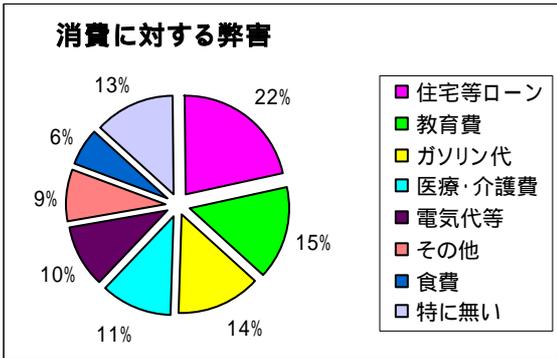
特別アンケート 豊田市における消費動向の調査 ~ 1頁からの続き ~

2~3ヶ月前に比べ支出が増えたもの、増やしても良いと思っているもの ~ 最近の消費傾向 ~



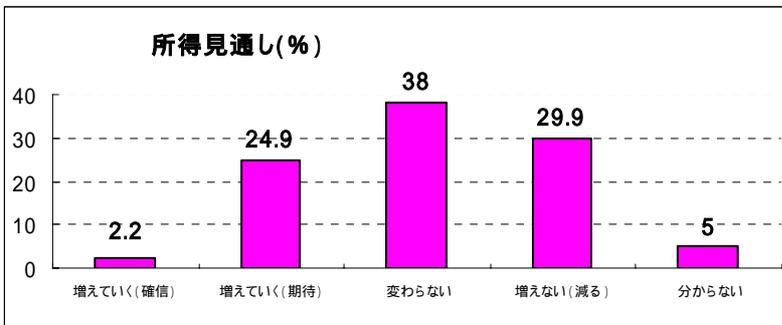
遊興費、外食費、生活費の割合が比較的高いことが分かります。しかし、「増やすものはない」との回答が第一位で、29%です。そのコメントとしては、「収入が増えていない」「今後をしっかり見極めてから」「先行き不透明」といった声が多く、景況感が改善しても、短絡的に消費に回さないという極めて慎重な態度が窺われます。全国ではデパート売上が回復、高級時計の売れ行き好調といった報道が流れていますが、豊田では贅沢品は7%に止まっており、本調査での小売関連や飲食関連の現状・水準判断D1の改善遅れとも整合的な結果となっています。

家計で負担に感じる支出 ~ 消費活動に対する弊害調査 ~



豊田では、ローン、教育費、ガソリン代が消費阻害要因のトップ3です。そのあとが、医療・介護費、電気代等となります。税金支払いを指摘する声もあります。消費税増税が目前に迫る中、家計の“自己防衛”意識が今後どのように変化するのか、注視していく必要があります。

所得見通し ~ 消費動向の今後を占う ~



所得が増えることについて、“確信”は2.2%と僅かで、“期待”も24.9%でした。残りの67.9%が変わらないか減るでした。円安により企業業績の好転でも所得への反映は慎重に見ておられるようです。逆に所得に対する悲観論も多く寄せられました。

景気実感指数 DIの算出方法

評価段階	5	4	3	2	1
現状	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
先行き	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
水準	(良い)	(やや良い)	(どちらでも)	(やや悪い)	(悪い)
付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0

5段階評価での回答数集計 評価別回答数の構成割合(100%)を算出 構成割合に上記の付与点数を掛けて合計値を算出、その合計値がDI値です。DIは“景気の動きに対する評価への投票”とも言えます。

心と心のおつきあい
豊田信用金庫
地域経済研究グループ
〒471-8601 愛知県豊田市元城町1-48
電話 0565-36-1384
URL <http://www.toyoshin.co.jp>